

# 豊島区青少年育成委員会連合会 地区委員会アドバイザー派遣事業 活用報告

豊島区子ども家庭部子ども若者課



# 豊島区青少年育成委員会とは？

- 青少年の健全な育成のため、区内12の地区で多彩なスポーツやレクリエーションを通じた交流、地域の子どもたちの見守りを実施。青少年の社会参加を促す活動を行う。
- “社会を明るくする運動”地区推進委員会としても活動を行う。



# 豊島区青少年育成委員会連合会



## ■ 設立目的

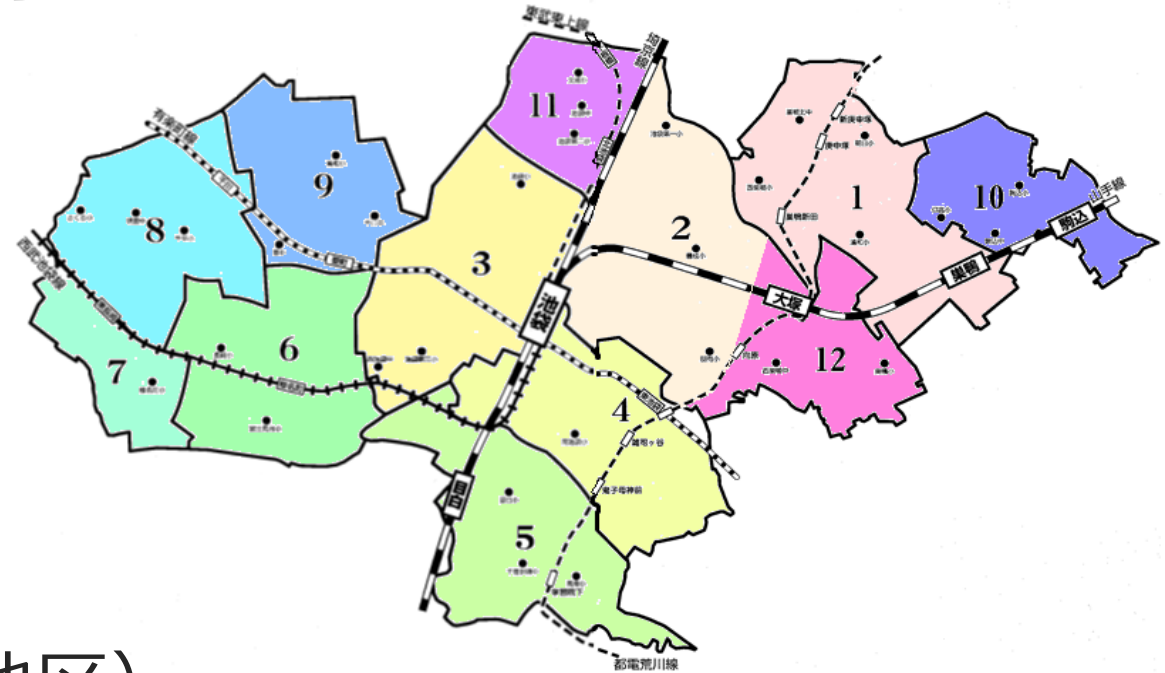
豊島区青少年育成委員会12地区の相互の連携を強め、  
青少年の健全育成活動をより効果的に進める

## ■ 設立

昭和61年

## ■ 組織人数

豊島区地区青少年育成委員会  
の委員（約400名程度）のうち  
代表60名で構成（各地区5名×12地区）



# 豊島区青少年育成委員会連合会

## 主な活動内容

- ・ 社会環境に関する諸活動
  - ・ 各種関係団体相互の連絡調整
  - ・ 青少年育成委員会資質向上のための各種研修会の開催
  - ・ 区事業等への協力
  - ・ 各地区の活動援助
  - ・ イベントの実施
  - ・ 会報発行
- など

地区委員会アドバイザー  
派遣事業を利用

## 地区委員会アドバイザー派遣事業を利用した理由

- 各地域では、外国にルーツのある子ども、障害のある子どもなどと接する機会が増えてきているが、地域のイベントに参加してもらうのはハードルが高い。

《参考》豊島区の人口に占める外国人の割合：**約13%**（令和8年5月1日時点）

- 多様な住民との適切な接し方や、地域活動への参加の声かけの仕方などの理解を深めることを目的に、テーマ「地域でのダイバーシティ意識の醸成」を選択し、令和7年度本事業を利用。

# 地区委員会アドバイザー派遣事業実施概要

- 日 時：令和7年12月17日 19時～20時30分
- 場 所：豊島区本庁舎 センタースクエア
- 講 師：野毛坂グローバル代表/NPO法人横浜プランナーズネットワーク理事長  
奥井 利幸 氏
- テーマ：「気づく力」が地域を変えるー多様な住民と向き合うために

# 地区委員会アドバイザー派遣事業実施概要

## ■ 講義

～地域の“見えない違い”に気づき、関わり方のヒントを持ち帰る～

- ・ “気づく力とは何か”
- ・ 多様な住民と向き合う視点
- ・ 日常の地域活動を複合的に
- ・ 身近な事例を考える

## ■ 参加者間の意見交換



# 地区委員会アドバイザー派遣事業参加者の声



講義で学んだことを育成委員会の活動だけでなく、町会の円滑なコミュニティにも活用したい



他地区の方と意見交換ができて、とても良かった



相手を知り、「少し立ち止まって、少し想像する」を地域の活動で実践したい



講師の「特別なことをする必要はない」という言葉に勇気づけられた。積極的に地域の方に声をかけたい

## 今後の活用について

- 令和8年度は、「子どもの主体的な参加促進」をテーマに講義を実施予定。
- 本事業の継続的な活用により、講義による知識の習得および各地区の委員が意見交換、課題を共有し、地区活動のより一層の充実・活性化を図る。